

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	1%硝酸銀(ワルチンスターリー)
会社名	武藤化学株式会社
住所	東京都文京区本郷 2-10-7
電話番号	03-3814-5511
ファックス番号	03-3815-4832
電子メールアドレス	mutopop@mutokagaku.com
緊急連絡電話番号	03-3814-5511
推奨用途及び使用上の制限	検査・研究用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2A
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (循環器系)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (肺、腎臓、心血管系)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性)	区分 1
	水生環境有害性 (長期間)	データがないため分類できない

注) 上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」、または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の 11 項に、「分類対象外」、「区分外」、または「分類できない」の記述がある。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激性

重篤な眼の損傷

発がんのおそれの疑い
 生殖能又は胎児への影響のおそれあり
 血液系の障害
 長期にわたる、又は反復ばく露による肺、腎臓、心血管系の障害
 水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
 容器を密閉しておくこと。

粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪い時は医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合は口をすすぐ、無理に吐かせない。

火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管

直射日光を避け容器を密閉しておくこと。

冷暗所に置くこと。

廃棄

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合製品		
化学名又は一般名	硝酸銀	クエン酸	水
分子式（分子量）	AgNO3	C6H8O7	H2O
濃度又は濃度範囲	1%	0.025%	98.975%
CAS 番号	7761-88-8	5949-29-1	

官報公示整理番号（化審法）	(1)-8	(2)-1318
官報公示整理番号（安衛法）	既存	
危険有害物質	硝酸銀	

4. 応急処置

吸入した場合	直ちに、被災者を新鮮な空気のある場所に移す。 被災者を毛布等でおおい、呼吸しやすい姿勢で安静にする。 気分が悪い時は、医師の治療を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。 皮膚を速やかに多量の水と石鹸で洗う。 医師の診断、治療を受ける。 皮膚刺激、発疹が生じた時、気分が悪い時は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	直ちに、流水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外して洗うこと。洗浄を続ける。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに、口をすすぎ、うがいをする。 大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 意識がない時は、気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	本製品は水溶性である。 二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、散水など
特有の危険有害性	火災中に刺激性又は毒性のガス、蒸気を発生する可能性がある。
特有の消火方法	風上から消火活動をする。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 環境に影響を出さないよう、できるだけ流出を防止する。
消火を行う者の保護	空気呼吸器、化学用保護衣を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。 風上から作業し、粉塵などを吸入しない。 粉塵が飛散する場合は、水噴霧し飛散を抑える。 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
環境に対する注意事項	河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。
回収、中和	漏洩物を掃き集め、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	必要に応じて換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗う。
	接触回避	湿気、水、高温体、火気との接触を避ける。
保管	技術的対策	保管場所は、採光と換気装置を設置する。
	保管条件	高温を避け、乾燥した暗所に保管する。
	混触危険物質	還元剤

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		設定されていない。
許容濃度	日本産衛学会	0.01g/m ³ (Ag)
	ACGIH	TWA: 0.01g/m ³ (Ag)
設備対策		この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 蒸気、ガスなどが発生する場合、換気装置を設置する。
保護具	呼吸用保護具	呼吸器保護具を着用する。
	手の保護具	保護手袋を着用する。
	眼の保護具	保護眼鏡を着用する。
	皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	液体
色	無色
臭い	無臭
pH	4.0
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし

比重（密度）	データなし
溶解度	水と混和する
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	光、熱により変質するおそれあり
危険有害反応可能性	通常の処理ではなし
避けるべき条件	熱、日光
混触危険物質	還元剤
危険有害な分解生成物	窒素酸化物 (NOx)

11. 有害性情報

硝酸銀について

急性毒性	ラットを用いた経口投与試験の LD50=1, 173 mg/kg
皮膚腐食性及び刺激性	モルモットを用いた皮膚刺激性試験結果 (CERI ハザードデータ集 2001-57 (2002)) の記述から「腐食性がある」
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験結果の「中等度から強度の刺激性」がみられた (CERI ハザードデータ集 2001-57 (2002)) という記述から、「強度の刺激性」がある
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：データがないため分類できない。 皮膚感作性：データがないため分類できない。
発がん性	発がんのおそれの疑い (区分 2)
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	「気道が急激に刺激される」
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	「肺と腎臓の障害、動脈硬化症」
吸引性呼吸器有害性	データがないため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境急性有害性	甲殻類 (オオミジンコ) の 48 時間 EC50=0. 0006mg/
	水生環境慢性有害性	データがないため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。 都道府県知事などの許可 (収集運搬業許可、処分業許可) を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を交付して廃棄物処理を
-------	---

委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、ラベルをはがし内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	3082
	国連品名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
	国連危険有害性クラス	9 (有害性物質)
	容器等級	III
国内規制	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	陸上規制情報	消防法の規定に従う。
特別安全対策		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法		名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の別表第9）特定化学物質等障害予防規則、第二類物質銀及びその水溶性化合物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)		第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）銀及びその水溶性化合物
毒物及び劇物取締法		非該当
消防法		非該当
船舶安全法		非該当
航空法		非該当
水質汚濁法		有害物質「硝酸化合物」（第二条第二項）

16. その他の情報

（注）本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

参考文献

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
化学物質安全性データブック	オーム社